研究開発機構
Research and Development Initiative

Colloquium RDI Colloquium RDI Colloquium RDI Colloquium RDI Colloquium RDI Collo

中央大学研究開発機構コロキアム
- RDI Colloquium -

入場無料
（事前申込不要）

5月25日（金） 16：40～18：20

後楽園 キャンパス
3号館3階3300号室

TV会議システムにて中継

多　摩 キャンパス
1号館4階1410号室

＜16：45～17：30＞

題　名：**治水と環境の調和した川づくりについて**

GOTO Takahisa

講演者：**後藤 岳久** 機構助教

概　要：我が国の多くの河川では、普段の水が流れる低水路と、それより一段高く洪水時に水が流れる高水敷から構成された複断面河道が用いられています。高水敷と低水路の境界には、洪水流による侵食から河岸を守るために、コンクリート製の護岸が多く設置されています。しかし、河川を生活の場とする生き物にとっては、水域と陸域の境界となる水際地形の多様性が重要であるため、その多様性の乏しい複断面河道やコンクリート護岸で覆われた河道は好ましい環境ではありません。今回の講演では、水際地形に連続性を持たせて治水と環境の両面から有利となる河道断面（船底形断面河道）の設計技術、水際に存在するヨシの河岸保護の機能、巨石を用いて砂州を回復し河岸を保護する技術（巨石付き盛土砂州を用いた河岸防護工）について分かりやすくお話しします。

＜17：35～18：20＞

題　名：**都市の自然を守り育てるための「グリーンインフラ・マップ」について**

講演者：**山下 英也** 機構教授

概　要：都市の自然環境は、個々の自然空間だけで成り立っているのではなく、モザイク状に連続する多様な地形や植生などが作用し合い存在しています。
私たちは、自然と調和した都市環境を実現するため、どのように自然を保全し育てたら良いかを考えるための新しい地図「グリーンインフラ・マップ」を開発しています。今回は、流域の視点から水・植物・生きもののつながりについて読み取る「グリーンインフラ・マップ」をご紹介します。

YAMASHITA Hideya

＜主催＞
中央大学研究開発機構

行動する知性。
中央大学

＜お問い合わせ先＞
中央大学研究支援室
Tel. 03-3817-1602　Fax.03-3817-1677